

議会だより

東くしら

第144号

令和2年
2月10日発行

発行 鹿児島県東串良町議会
編集 広報広聴常任委員会
電話 0994-63-3132(直通)



**消防団による放水訓練
に圧倒されました!**

関連記事 P.24

12月議会審議結果・・・2

一般質問「町が開設した避難所の問題点等」・・・4

クイズ・・・23

経費を追加

令和元年第4回定例会は、12月10日から12月19日までの10日間の会期で開きました。今定例会では、同意1件、単行議案3件、補正予算4件を審議しました。（議案等に対する議員の賛否状況は左のページに掲載）

また、一般質問には6人の議員が登壇し、執行部に質問を行いました。（関連記事P.4～P.10）

令和元年度補正予算

会計名	補正額	補正後の総額	主な内容（歳出）
一般会計	2億2201万円	55億800万円	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税返礼品 ふるさと納税返礼品配送料 東串良町ふるさと応援基金積立金 寝たきり老人オムツ給付費 障害児給付費 保育園施設型給付費 健康増進事業等検診委託料 小学校教員指導書購入費
国民健康保険特別会計	993万円	11億1544万円	<ul style="list-style-type: none"> 一般保険者高額医療費
後期高齢者医療特別会計	62万円	9121万円	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者保険料
簡易水道事業特別会計	830万円	1億392万円	<ul style="list-style-type: none"> 水道本管の塗装料

補正予算

一般会計補正予算では、ふるさと納税寄附金（令和元年9月末時点で寄附金総額1億969万円）が年末に向けて増える見込みがあるとして、返礼品等の関係経費が追加されました。なお、各会計の主な補正額は次のとおりです。（4会計すべて原案可決）

条例改正等

■東串良町特別職の職員の諸給与に関する条例及び議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（賛成7・反対1で原案可決）

令和元年人事院の給与勧告に基づき、町長、議員等の期末手当の支給割合を0.05月引き上げるための条例改正を決めました。

反対討論

牧原 完治 議員
議員の報酬、手当てを引き上げるとは町民の方からの理解は得られない。引き上げには反対だ。

■東串良町職員給与に関する条例の一部改正（全会一致で原案可決）

令和元年人事院の給与勧告に基づき、職員の給料、期末勤勉手当、住居手当を引き上げるための条例改正を決めました。

■東串良町印鑑条例の一部改正（全会一致で原案可決）

印鑑登録証明事務処理要領（総務省自治行政局通知）の一部改正により、本町の印鑑登録における成年被後見人の制限に伴う改正を決めました。

●固定資産評価員の選任

全会一致で同意
外園享氏（新川西5637）の任期満了に伴い再任命の提案があり、同意しました。



俣瀬橋に敷設された水道本管の塗装工事

令和元年
12月議会

ふるさと納税の関係



質疑

問

職員の給与について、職員の処遇に関することだが、職員組合と今回協議はなされたのか。

答

人事院勧告に基づいて行っているため、協議の場は設けていない。また、これまでも行っていない。

問

ふるさと納税の返礼率が約44%だが、3割に抑えることはできないのか。

答

今回の議案の予算書は寄附1億円増に対して、4400万円を返礼品に充てているため44%とみられがちだが、年間予算で通した額で見ると3割以内で抑えられるようになっている。

問

寄附金に関して、柏原出身の横山さんから1000万円の寄附を受けたと聞いた。町長はどのような使い方を考えているのか。

答

町内バスツアーを行っているため、それらに利用できるバスの購入に充てられたらと思う。これ以外にも送迎やくるりんバスの活用も考えている。

12月議会の賛否状況

議案等の番号	件名	賛否の意思表示								議決結果		
		小川	児玉	瀬戸山	牧原	西園	泊田	前田	上園		宮地	田之畑
同意第8号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第50号	東申良町特別職の職員の諸給与に関する条例及び議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	欠	×	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第51号	東申良町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第52号	東申良町印鑑条例の一部を改正する条例について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第53号	令和元年度東申良町一般会計補正予算（第5号）	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第54号	令和元年度東申良町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第55号	令和元年度東申良町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第56号	令和元年度東申良町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決

（○：賛成、×：反対、欠：欠席、-：議長には表決権がありません。）



一般質問

一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねます。

単に疑問をはらし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動です。

本町議会の質問時間は、質問と町長等の答弁をあわせて1人60分以内となっています。

上園 ミキ (5ページ)

- 町が開設した避難所の問題点
- 町主催の金婚式のあり方

宮地 利雄 (6ページ)

- 串良川の防災対策
- 小中学生の通学時の荷物軽減対策

児玉 勇治 (7ページ)

- 緊急時における休校等の統一化は
- 病気予防や健康づくりの取り組み

小川 香織 (8ページ)

- 町の防災計画
- 鳥獣被害対策

前田 隆 (9ページ)

- 町長が目指す今後の町づくり
- 町内全域に防犯カメラ設置を

西園 貞美 (10ページ)

- これからの観光対策

会議録の設置

定例会や臨時会の会議録は、次の町内3箇所に設置しています。また、町のホームページでも見ることができます。

- ☆役場1階ロビー本棚
 - ☆福祉センター
 - ☆総合センター
- ・・・是非、ご覧ください。



【東串良町HP】

町政を問う

※掲載内容については、質問者が質問と答弁を要約し、東串良町議会広報広聴常任委員会が編集したものです。



避難所への避難者数は



3カ所を開設し、173名が避難した



上園 ミキ 議員

上園 申長川が決壊のおそれがあるとして、町は7月3

日避難指示を出し避難所を開設した。それぞれの避難所への人数は何人であったか。

町長 クーラー設置の整った3カ所の施設を開設した。

保健センターに120名、総合センターに23名、防災センターに30名、89世帯の計173名が避難した。

上園 二次災害をまねかなくするために、体育館等の整備をしておく必要があるのではないか。

町長 多くの方が避難するとなれば、体育館等の空調設備も前向きに準備していったらと思う。

上園 町が開設した避難所以外で、例えば子供のところや親戚のところなどに避難し

た人の人数は把握できているか。

町長 商業施設などの駐車場で車中泊した人がいたことは把握しているが、それらの人数については把握していない。

上園 情報連絡網の整備をするべきではないか。

町長 アンケート調査をしてみた。

上園 避難所での問題点や改善すべき点等はなかったか。

町長 一部高齢者から冷房のききすぎで寒さを訴える方がいた。毛布が不足した避難所があったので物資の充実強化や対策を図りたい。

上園 震度7の地震がきた場合、町内の家屋の何%が耐



30名が避難した防災センター

えられるのか把握しておく必要があるのではないか。

町長 震度7に耐えられる住宅はどれぐらいあるかということは、調査してみないとわからない。頑丈な家の造り方を検証させていただきたい。

上園 高齢者や障がい者等通常の避難所生活に困難をきたす要援護者を対象に、避難所の開設を指定する施設はあるか。

総務課長 光祐の里、有料老人ホームあじさいⅡ、グループホームあじさい、南の太陽、ルーピンの里の6施設である。

上園 家族やケアマネージャー、ヘルパー、保健師、病院関係者等を交えた会議はできているのか。

福祉課長 問題の整備等をし、協議の場を持たないといけないというお互いの共通認識はできている。

上園 自主防災組織でのリーダー育成は。

町長 今後も自主防災組織の設立や地域リーダーの育成を図り、地区防災計画の策定を推進し、災害の軽減につな

げたい。

Q 高齢者福祉大会と金婚式を分けて開催できないか

A 近隣市町や町民の方の意見を参考に検討したい

上園 本町は高齢者福祉大会を金婚式と一緒にとり行っているが、これを分けてすることはできないか。

町長 福祉大会と金婚式を別途に開催する利点があれば検討に値するものと考え、近隣市町の動向も参考にして町民の皆様の意見も拝聴したい。



昨年度の金婚式には4組が参加された



串良川の土砂等撤去の効果は



30cm程度の水位低下が見込まれる



宮地 利雄 議員

宮地 串良川の下流は土砂が堆積し、また樹木などが茂って、川の流れが妨げられていた。今回、国土交通省もやっと重い腰を上げて、撤去の工事が行われている。この工事が、今後の水位にどのような効果があると考えているか。

町長 国土交通省、大隅河川国土事務所を確認したところ、30センチ程度の水位低下が見込まれている。

宮地 国と都道府県が管理する河川が氾濫危険水位に到達、あるいは突破した数を国土交通省が発表している。5年前は83河川が何と474河川に増え、実に5.7倍に激増である。

河川法52条では、河川管理者は洪水調節のための指示が



串良川下流の土砂を撤去

できると明記されている。だから、全国各地のダムにおいて、事前放流がなされ、ダムから河川への放流と豪雨が重ならないようにできる。事前放流実施要綱が整備されているダムが全国的に増えつつある。

国土交通省、関係市町村も含めてそのような要綱が関係者の間で結べないものか。

町長 高隈ダムでは、平成28年度に九州農政局、河川管理者、県、国の関係機関により、高隈ダム臨機措置連絡会を設置し、災害未然防止を目

的にダムの水位を下げる運用を行っている。これに本町も加入できないか要請した。

宮地 関係住民への避難勧告、避難指示と、水位の関係についてもっと周知させる必要があるのではないかと。特に豊栄の方々については関心があると思う。

町長 広報紙6、7月号において、防災等に関するお知らせ、防災行政無線戸別受信機の設置などについて周知している。また、避難勧告等に関して住民のとるべき行動と、その行動を促す避難勧告等の情報も周知している。そして、8月号では、7月の大雨により串良川が氾濫危険水位まで15センチと迫ったため、豊栄地区等に避難勧告を発令した経緯等について掲載したところである。今後も広報紙等を有効に活用し、町民の皆様にも周知を図りたい。

宮地 実際に台風や豪雨に遭っているときには、防災無線が聞こえない。ワット数の大きな専用の広報車を用意したかどうか。

町長 今後、専用の広報車

があるのかも含めて研究してみたい。

Q 登下校等の荷物軽減対策は

A 学校に置いてよいものなど示し、改善している

宮地 文科省の事務連絡によると児童生徒の携行品の重さや量への配慮を求めている。本町の教育現場ではどのような取り組みがなされているのか。

教育長 学校は学校に置いてよいものを当初プリントで示し、従来より置いていいものを15%増やしたところである。さらに副教材を見直し必要なものだけ持つてくるよう指導をし、改善している。また、小学校も置いて帰ってもよいものなどを決めて、改善に努めている。



災害時の休校に統一基準を設ける考えは



ケース・バイ・ケースで対応する



児玉 勇治 議員

児玉

前回の一般質問で非常時の学校対応と休校に対し、最終的には校長判断との回答であったが、伊佐市教育委員会は災害時の休校に統一基準を定めた。統一した基準があれば保護者も目安となると思うが、本町は統一基準を設ける考えはないか、再度尋ねる。

教育長

台風の場合は、前もって予報があり、話し合いが十分できる状況なので、基本的には今までの形でよいと思う。レベル4のような避難勧告が出るような場合は、当然休校や自宅待機になる。レベル3の段階、場合によってはレベル2でも情報交換し、話し合いを必要に応じて連絡をし、対応していく。台風

風の大きさや進路など、ケース・バイ・ケースで柔軟な対応

応をしていきたいと思う。地震やそれに伴う津波の場合は、一定の決まりを決めておく必要がある。3校とも、どこに避難すべきかを児童生徒に徹底して指導しておくこと、またそれを保護者にも周知しておくという意味での基準は設けて、徹底していく必要がある。なので学校にもお願いをしていく。

Q 本町の病気予防や健康づくりに対する取り組みは

A 検診等への受診率向上に努めている

児玉

病気予防に1500億円、政府が病気予防などに積極的に取り組む自治体へ支援交付金を2020年度予算に計上する予定の金額である。本町は保険者努力支援制度に対してどのような取り組みをしているか。

福祉課長

町の取り組みは、特定健診の受診率向上、特定保健指導修了率の向上、糖尿病重症化予防の推進、ジェネリック医薬品の使用割合の増

加、がん検診受診率の向上、歯科検診受診率の向上などに取り組んでいる。

児玉

町主催の第1回栄養教室に参加した。夜遅くまで町民の健康を考え、病気予防に取り組んでいる職員の姿に感動し、頭が下がる思いがした。健康努力に力を入れていくことに感動した。特定健診で異常が見られた人にフォロー事業として追跡調査や指導が行われていると思う。

そこで、今の保健師や管理栄養士の配置状況と、特定健診を受けている町民の割合及び目標率は。

福祉課長

保健師は現在6名で業務に当たり、健診後の訪問指導や栄養教室等は、在宅保健師や管理栄養士にもお願いしている。特定健診の受診率は、平成29年度は51.1%で、昨年度は50.7%。保健指導の修了率は、平成29年度が78.9%で、県内第1位の結果である。昨年度は76.9%、県内第2位の結果であった。健診受診率、保健指導修了率ともに60%以上に向かって取り組んでいる。

児玉

町民の病気予防は、職員力だけでは限界があると思う。まずは自分の健康は自分の力で管理をということ、町民が理解して、多くの方々に特定健診を受けていただき、病気予防と早めの治療によって、国の掲げる保険者努力支援制度の多額の交付金を獲得できればと思っている。町民と行政が一体となり、健康で明るい東串良町が形成されることを大いに期待する。



定期的に行われる各種検診

Q 本町における防災計画について

A 要望を踏まえつつ整備を順次図る



小川 香織 議員

小川 地域の実情に即した計画が地域防災計画なのだが、周知されていない。その理由について尋ねる。

町長 防災にかかわる計画は、東串良町地域防災計画並びに東串良町業務継続計画が策定されている。

東串良町地域防災計画については、A4の10センチファイル1冊分で、全世帯への配付等は困難であるため、防災マップを平成30年3月に作成し、全戸配布している。

町民の皆様が災害に備えるために必要な情報と、災害時に必要となる情報については周知している。

総務課長 再確認の意味で、見ていただくような対策もとっていききたい。

Q 避難所の鍵の管理、連絡体制等について

A マニュアルを作成中

小川 鍵の保管、管理等について、その鍵の管理者が開錠を行うのが困難な場合、どうするのか。

町長 避難勧告等を発令する前に、職員に指示し、開錠並びに避難所開設にかかわる業務を行っている。通信手段が途絶えたときの鍵の開閉、あるいは連絡体制という部分については、今、避難所マニュアルを作成中である。

小川 先月行われた、豊栄地区津波避難訓練での参加人数の把握や災害時避難行動要支援者の把握、配慮、受け入れ体制について尋ねる。

町長 豊栄地区の住民の方々が約80名と、池之原小学校の児童、そして豊栄保育園の園児等、約450名が参加した。災害時避難行動要支援者の参加状況の把握は、一人ひとりの名前を記録していないが、7世帯の方が車両による避難に参加しているようだ。

Q 避難経路の対策は

A 手すりの設置を検討

小川 避難経路に対する安否対策や要支援者の配慮について、池之原小学校正門前から続く階段に手すりがない。階段は段数が多く、また夜間は電灯が設置されていないので足元が確認しにくい状況になる。大雨等、複合災害時には階段が滑りやすくなり、滝のように雨が流れると階段の使用が困難になるのではないかと。

ある地域ではガードレールの一部を担架が組み込まれたガードレールに変更し、歩行困難者の救援活動に対策を講じ、階段とは別にスロープを取りつけるなどの配慮がなされている。池之原小学校に続く避難経路に限らず、多くの避難経路に関して整備が必要な箇所が点在しているのではないかと。

町長 手すりが無い事を確認し、早く設置しなくてはと思っています。池之原小学校の裏側のほうに手すりはついていますが、正門の階段も今後、

検討する必要がある。

小川 総合センター等の避難所指定に関して、凡例表示の中に総合センターを提示する記載が確認できない。記載されていないということは、災害から避難者の生命を保護する場所として総合センターは、ふさわしい場所であると言いたいということではないか。津波に限らず大雨等により河川が氾濫した場合は浸水災害が起き、避難した方は施設に孤立し、救援が必要になることも考えられる。避難所としてこれからも表記していくのか疑問に感じる。

町長 総合センターは標高が低いので、1階部分は避難できないというところもある。雨が降った場合、老朽化しており、雨漏りもひどいので、そういうことを考えて凡例表示に関しては記載していないところである。

※その他の質問

鳥獣対策等について質問しました。

※答弁については会議録参照



町長が目指す今後の町づくりは



老朽化施設の複合的整備も図りたい



前田 隆 議員

前田

町長選挙に立候補を表明した宮原町政の一期目は、前町長からの数々の諸問題の解決に明け暮れた日々であったように思う。中でもにぎやかタウン雪山土地陥没の問題は、10年以上解決できない状態であったのを就任早々から積極的に取り組み、被害者住民の心を解きほぐし解決に導いた。まだまだ解決しなければならぬ諸問題が残っているが、二期目に向けて、どのような事業を考えているか。

町長

この4年間「子どもに夢を、若者にロマンを、お年寄りに愛を」スローガンに、農畜水産業の振興、福祉施策の推進、教育環境の整備、観光事業の推進、定住促進事業など種々行ってきたが、時間的な問題、財源的な問題でや

り残している施策も多々ある。また、公共施設において老朽化の施設も多く複合施設的な整備が図られたらと思っている。姉妹校、姉妹都市の締結も今後の課題として取り組んでいけたらと考えている。

引き続き町民の皆様のご支援をいただくことができれば粉骨砕身頑張っていきたい。

前田

前から話が出ていた旅館やレストラン問題はどうなっているのか。

企画課長

町長の指導のもと、建設誘致を現在も継続で取り組んでいる。先方も前向きに検討しているとのことであり、これからも全力で取り組んでいく。

Q 町内全域に防犯カメラの設置が必要ではないか

A 住民の意見を聞き、慎重に検討したい

前田

防犯カメラを町内に何台設置しているのか。

総務課長

7カ所の計10台設置している。

前田

今、日本全国で事件

柏原に初の定住貸付用地が完成

柏原小学校北側に定住用地「マリンビレッジ柏原」が2区画完成しました。

いずれの区画も広さは約140坪です。（詳しくはp21を参照）募集は3月中を予定としています。

★ 問い合わせ先 企画課 Tel.63-3122



や事故が多発している。我が町では大きな事件や事故は発生していないが、犯罪の未然防止や事件事故の早期解決を図るためにも、町内各地区に防犯カメラを設置する考えはないか。

町長

防犯カメラの設置については、ただ漫然と設置するのではなく、地域の犯罪情勢や地域の特徴を詳細に分析し、その上で、犯罪の未然防

止や事件、事故の早期解決を図るなど、効果が見込まれる場合設置する必要があると考えている。一方で防犯カメラは、プライバシー等の基本的人権を侵害してしまう恐れがあり、管理については慎重に対応する必要がある。住民の要望などがあつた場合、肝付警察署などと検討し設置したいと思う。

Q 町内における観光への取り組みは

A バンガローの建設を予定している



西園 貞美 議員

西園 観光対策について、町内全般であるが、今後どのような取り組みを考えているか。

町長 唐仁古墳については、肝付町の塚崎古墳や大崎町の横瀬古墳をめぐる広域的な観光ルートを確立できたらと考えている。さらには、児童館を撤去し、同場所に公園の管理棟を建設して観光情報の発信や地元特産品をPRできる拠点として活用していきたい。また、バンガローの建設も予定している。町内外からも多くの観光客が訪れ、地域活性化が図られたらと考えている。

西園 大崎町から我が町を通じて肝付町まで通る観光めぐり、古墳めぐりだけでは町に潤いは望めない。ふれあいの森から町境の安留まで区割

りして、業者に清掃管理をお願いしたらどうか。引き受けてもいいという業者もいるということだが、その気はないか。

町長 松林は国有林であるため国にお願いし、今大隅森林管理局のほうでも整備に手をつけているようである。声を高らかにまた言っていきたい。

西園 松林が昔みたいになり、イノシシやタヌキもいなくなり、シユロやキイナバ、シメジがとれる日が来るかもしれない。そうしたら自然と人は集まる。

町長 業者の方々に相談させていただきたいと思ってる。

西園 もう一つ、肝付町と



児童館を撤去し跡地の検討がされている



相撲場周辺に芝生が張られる

話し合って、柏原海岸から権現山までケーブルを通したらどうか。去年、我々議員も滋賀県に研修に行った。下に商店街とか、土産品店があり、また山の上にも食堂や土産品があった。これは黙っていても人が集まり、観光バスで観光客が来ると思う。ぜひとも肝付町長と話しをして、また森山先生のところをお願いに行つて、国の力をかりて我が町に金を持つてきていただきたい。

町長 観光につなげる道筋となると思うので、肝付町長と話をしたいと思う。

西園 最後に実のある仕事をし、1期目の宮原行政を花咲かせるような仕事をしていただきたい。

議会を傍聴してみませんか？

手続きは簡単です。
本会議の当日、傍聴人名簿に氏名・年齢を記入していただくだけです。
議会を傍聴することは、町政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。
3月議会は、10日からの開会予定です。
※本会議については、防災無線でお知らせします。



(備考：○…出席 ×…欠席 △…同日複数会議で1会議に欠席 遅…遅刻 早…早退 他…他の公務 -…該当なし)

日付	会議・行事等	小川 香織	児玉 勇治	瀬戸山 譲一	牧原 完治	西園 貞美	泊 重巳	前田 隆	上園 ミキ	宮地 利雄	田之畑 稔
11/5	広報広聴常任委員会、全員協議会、防災・減災特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11/8	町戦没者追悼式	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○
11/10	町文化祭	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
11/24	意見交換会「みんなで語る会」池之原校区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11/26	議会運営委員会	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○
12/1	意見交換会「みんなで語る会」柏原校区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/6	議会運営委員会、全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/10	第4回定例会本会議	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
12/11	総務民生常任委員会、教育産業常任委員会、全員協議会	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
12/12	第4回定例会本会議	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
12/13	教育産業常任委員会	-	○	×	○	○	-	-	-	-	○
12/16	教育産業常任委員会	-	○	×	○	○	-	-	-	-	○
12/17	防災・減災特別委員会、全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/18	広報広聴常任委員会	○	-	○	-	×	-	-	-	○	○
12/19	第4回定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/24	国民健康保険事業運営協議会	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-
12/25.29	消防年末警戒巡回	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
1/1	町成人式	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
1/8	全員協議会、広報広聴常任委員会	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
1/12	町消防出初め式	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
1/17	全員協議会、広報広聴常任委員会	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
1/19	町内一周駅伝競走大会	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
1/21	第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1/28-29	県議長会議員研修会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
1/31	町農業再生協議会臨時総会	-	○	×	-	-	-	×	-	×	○
1/31	大隅肝属地区消防組合視察研修及び勉強会	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○
平成31年1月～令和元年12月の集計											
会議や各種行事への参加が求められた回数		60	88	91	85	90	72	81	80	87	88
上記のうち、出席や参加した回数		59	87	78	84	83	67	72	79	79	88

* 議長の公務一覧 *

日付	用務	場所	備考
11/11～14	郡議長会議長及び局長行政産業研修視察、県議長会本県関係国会議員への要望活動及び全国議長会町村議会議長全国大会	NHKホール（東京都） 輪島市役所・白米千枚田・ 九十九海中公園（石川県）	
11/19	志布志市議会行政視察受入	東串良町役場	
11/29	郡議長会定期総会	錦江町役場	
12/25	大隅地域市町議会議員協議会役員会	鹿屋市役所	
1/11	県下一周駅伝競走大会結団式	大隅地域振興局別館	
1/14	志布志石油備蓄基地新年会	まえた屋	
1/20	町商工会新春懇談会	伊勢寿司	

所管事務調査報告

各委員会が10月25日～27日に実施した先進地調査や視察の報告です。

- 防災・減災特別委員会の調査報告（岩手県洋野町）・・・P.12
- 防災・減災特別委員会の調査報告（宮城県石巻市）・・・P.13
- 関東・東くしら会の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.14



東日本大震災で犠牲者ゼロの町 ——岩手県洋野町——

1 調査日
令和元年10月25日（金）

2 調査先
岩手県洋野町

3 調査の概要

岩手県洋野町は人口1万6千人の町である。3月11日午後2時46分、マグニチュード9.0（洋野町は震度4）の地震が発生した際は、町内全域が停電し、午後3時30分ごろ第一波の大津波が襲来した。繰り返す津波（最大15m）により、船舶の流出や道路の損壊、各種建造物の破壊で被害総額は65億7千万円に及んだ。

犠牲者ゼロの町と住民の取り組みについて

① 過去の経験から
三陸地方は、過去2回の地震と津波（明治三陸地震・昭和三陸地震）に見舞われていた。今回の東日本大震災と合わせると3回の巨大災害を経験している。先の2回の地震では明治三陸地震で死者251人、昭和三陸地震で116人の住民の命が奪われている。これらの悲惨な経験を教訓に現在の防災対策が練られてきている。町内各地に過去の慰霊碑が立ち、慰霊祭も行われ、防災・減災への啓発活動が盛んである。また、少年消防クラブが標高の表示板を設置するなど、普段からの防災活動や防災訓練を活発に行っている。

② 防潮堤の建設と管理
まず第一義的に津波に耐えうる防潮堤の設置やかさ上げが行われ、沿岸部（距離26km）にはなるべく人家を置かない状況が生まれている。防

潮堤には26カ所の水門があり、地震発生後10分以内に全水門が消防団により閉鎖される。

③ 消防団の育成と活躍
町内の消防団員は569名、内70名が役場職員（職員全数は210名）である。災害時には消防団員がまず率先して避難することで、町民に対して早期の避難を促していく効果がある。今回の震災発生に伴い、消防団員による徹底した低地侵入阻止活動（通行止め、検問）を行っている。また、婦人消防協力隊も組織されている。



防潮堤の一部が水門となっている

④ 自主防災組織
15団体が組織されており、要配慮者の避難誘導、安否確認、避難所の運営、地域ごとの避難路の検討、消火訓練、炊き出しなどを行っている。

今後の防災対策の課題と取り組みについて

- ① 災害対策本部
震災当時、通常の事務室に本部を置いたために手狭となった。災害事務が特定の部署に集中したので、本部設置場所の見直しや分掌事務の見直しが必要である。
- ② 通信体制
固定電話、携帯電話が不通となったため、学校や出先施設との連絡が取れなかった。トランシーバーや衛星携帯電話が必要である。
- ③ 停電・燃料対策
各避難所用に発電機、ストーブ、投光器などを消防団に配備し、災害時には消防団が避難所に搬送する。
- ④ マスコミ対策
マスコミが事務所内に入室して事務の支障となったため、マスコミの待機場所を設置して定期的な情報発信（紙資料やホームページ掲載）を行った。
- ⑤ 食料・災害物資の備蓄
震災時の町の食料備蓄はゼロであった。そのため、現在では4500食分を備蓄し、簡易トイレ、マット、ライトなどの整備を行った。

4 意見と提言

▼ 役場職員になったら即消防団に入っている。消防団のOBは地域の自主防災組織のリーダーになるなど消防団が大活躍している。

▼ 洋野町の議員は役場に集合するより、自主防災組織と共に地域での活動を優先していた。

▼ 地域住民が、災害に備えて普段どのような準備をし、災害時どのような行動をしなければいけないのかを知ること、又、避難とは避難場所へ行くことが全てではなく、災害を個人でやり過ごす知恵を持つことを今回学んだ。

▼ 防災担当者の資質が地域社会を救うとするならば、本町も日頃から職員の知識と意識を高めておく必要がある。

▼ 今調査に、最後まで防災対策協議会の方と防災アドバイ



看板等を設置し、避難路の整備も行われている

ザーの方が対応してくれたことに驚いた。自立した防災組織が立ち上がっているということだ。

▼ ハード面・ソフト面の強化の重要性を認識した。特に防潮堤のない区域でも被害者ゼロという事実は、ソフト面の充実強化が防災・減災対策に重要な役割を果たすことを認識する機会となった。

▼ 本町でも防災マップ、避難場所、自主防災組織はあるが町民の意識は薄い。よって、年1回は町内全体での避難訓練を実施すべきである。

▼ 南海トラフ地震、種子島近海の地震等が懸念される。本町にも早急に必要な場所に、どんな波にも負けない防潮堤設置が必要である。

▼ 志布志湾の湾口より広い湾内の特性、幅数100m〜1km、標高10〜20mもある松林の特性、肝属川・串良川を持った本町における津波の遡上についての研究を検証すべきである。

▼ 石油備蓄基地の地震・津波に対する安全対策について、特に東側防潮堤のかさ上げなど、県や国に働きかけるべきである。

震災後の復興は未だ進行中

— 宮城県石巻市 —

1 調査日

令和元年10月26日（土）

2 調査先

宮城県石巻市

3 調査の概要

東日本大震災の被災地である宮城県石巻市を調査した。当時の被災状況や現在の復興の状況についてガイドに説明を受ける方法で市内を巡回し、伝承スポット、港、施設など約20ヶ所の調査を行った。主要個所として、石巻新漁港（水揚げ岸壁の長さ1200m、魚市場の上屋根の長さ652mでいずれも日本一の長さを誇り、水揚げ量、水揚げ高とも日本有数の大漁港である）と周辺地域（東日本大震災で崩壊したビル等も残存し津波の脅威を感じた）、復旧中の区域を巡回した。震災直後からの復興は未だ進行中であった。

南浜つなぐ館では、広域で甚大な被害を受けた東日本大震災の被害やメッセージ等が

展示され、震災の被害の大きさと脅威を学んだ。この館では専門の説明ガイドが被災地の状況と今後について説明していた。今回の震災の教訓を伝承し、鎮魂や慰霊も含め公園、遺構、展示施設の整備を行っていくという。その取り組みは、国が自治体と連携して整備を進め、岩手、宮城、福島で共同の計画となっている。しかし、運営方法も決まっていないと説明があった。昼食にいのちのまき元気があつたを訪問した。1階は物産や特産品の展示、2階はレストランとなっていた。



現在も残る災害の爪痕

4 意見と提言

▼ 門脇小学校は火災が発生し犠牲者が出たが、その横の高台には犠牲者はいなかった。

▼ 石巻漁協前の防潮堤が震災前に造られていたら、これだけ多くの犠牲者は出なかったのではなからうか。

▼ ボランティアによる語り継ぎの場が整備されていた。災害の恐ろしさを後世に伝える大切さが身に染みた。

▼ かねてから逃げ場所を常に考えておくべきである。

▼ 復興に尽力する住民に不必要な不安を持たせない政策立案が課題となる。

▼ 復興事業が大規模である。莫大な復興予算の前に未だに災害を防ぐ予算の計上が求められる。

▼ 建物は復旧復興できるが、4000人以上の人命は戻らない。自主防災組織のリーダー育成や研修、恒常的な組織が求められる。

▼ 防潮堤もだが、避難道路の整備、住民による確認を急ぐべきである。

▼ 南海トラフ津波対策として、海抜10m以下の土地には建物建築を許可しない対策を検討すべきである。

関東・東くしら会の報告

— 東京都 東海大学校友会館で開催 —

1 調査口

令和元年10月27日(日)

2 調査の概要

第12回関東・東くしら会は、令和を迎えて初めての会となり、関東地域に在住し活躍されている本町出身者120名が出席して盛大に開催された。楠木健郎会長が本会の趣旨や意義とともに出席者への感謝の言葉と郷土東串良への想いを述べた。

今回の会では、地域おこし協力隊による故郷PR動画が上映され、東串良町の風景や歴史を参加者は、懐かしそうに語り合っていた。懇親会は、歌手の恋川いろはと藤ひろしの出演で盛り上がり、恒例のお楽しみ抽選会では、商品が追加されるなど三遊亭楽生氏のユニークな司会により終始盛り上がりを見せた。

※次の意見・意向・要望は個人の意見です。

出席者の主な意見・意向・要望

【財政について】

●ふるさと納税の対象商品の開発、PR、販売促進に対して更に力を尽くすべきだと思ふ。

●本場に必要なお金をお金を使い、きちんと将来を見据えた計画を立てるよう議員は意見すべきだと思ふ。(相撲場の活用が年間でみてもそこまでないと聞く。使わないものにお金を充てるべきではない。)

【人材について】

●議員に若い人が入ってよかったが、更に若い人を入れるよう努力し、在職者も年齢を考えて若い人に譲っていくべきである。



ふるさとの物販も喜ばれました

●自然災害等が多いため消防団の増員と組織の強化で町を守るよう努めてほしい。
●議会や行政は女性と若手を増やし人材を育てる働きかけをしていくよう努力して欲しい。

●町や行政内に優秀な人材を入れて町の質の向上を図っていくべきである。人数が多くても能力がなければ同じであることを考えて欲しい。

【産業について】

●議員や町長は今後5Gに対応した政策提言を行い、町としても対応できるシステムを導入していく必要があると思ふ。

●これからは食の生産が重要だ。本町の魅力を活かした農業、水産業、商業等産業の強化と補助に町として努めていき魅力を発信していく必要があると思ふ。

●本町の魅力を町内外に発信するため観光産業に対してもっと力を入れるべきだ。

●企業誘致は進んでいるのか。

【その他】

●姉妹都市の実現を言っていたが未だに実現されていない。町長も忙しいなら行政側が町長を支えるべきではないかと思ふ。

●子育てのしやすい環境を整えていくことで、安心して子育てができる町になると思ふ。
●女性の視点と感性が住みやすい町には必要だ。男ではわからないことがある。町長も女性が出ればいい。



故郷のPR動画が放映された

●地元に戻りたくても泊まる場所がない。宿泊施設の整備等をして安心して帰れる故郷を作してほしい。

●交通や買い物、サービスなど都会と比べると本町は生活しづらく帰りたいと思えない。帰りたいと思える環境を作ってもらいたい。

●新しい風をいれ、変わっていかないと東串良はだめだ。(議員も行政も町長も変わらなくてはと思う。)

●地元の情報が分からない。情報発信が弱いのではないかと。

●備蓄基地関連の交付金を活かしてもっと町の人のために使うべきではないかと思ふ。

3 意見と提言

▼今回から東串良会の参加議員数を2名と決め、議長合わせて3名で参加した。少人数の議員では全テーブルを回ることは出来ず、意見や要望等を拾いあげる事は困難であった。議員参加人数に対して改めて協議することも必要なのではと思つた。

▼地域おこし協力隊の東串良紹介の動画がかなり充実していた。

▼ふるさと納税の意義、内容が詳細に説明された。

▼以前から問題点として挙げられていたが、今回は若い人たちが複数名参加し、スタツフとしても参加していた。

▼この会の存続を危惧する旨の発言があつたが、参加人数は減少するも今後は若い人達に期待してもいいのではなからうか。

▼毎回参加される、三遊亭楽生の落語は楽しい。親御さんが柏原の出身だけに東串良町のルーピン祭や文化祭に呼んではいかがだろうか。

また、姉妹都市の絡みから群馬の歌い手さんも参加されたので、この方も町の催しに呼ぶべきだ。

町内の巡回活動

定期的に議員全員で町内を巡回し、道路等の危険箇所を調査しています。調査後、意見の集約を行い、町の所管課へ改善要求を行っています。

★巡回17回目★
令和元年11月5日

巡回地
柏原・新川西・池之原地区

子どもたちの声が活かされました

去る8月8日に行われた未来創造議会で、子どもたちが日ごろ感じていることを一般質問で執行部に伝えました。

その中で、通学路となっていた新川西交差点の段差について質問があり、その後、段差をなくす整備がなされました。



▲中央分離帯及び両脇の法面に草木が生い茂っている。管理者の県へ要望を。（信号から備蓄基地に入る道路）



▲駐車場から学校までの歩道がない。（池之原中公民館近くの道路）



▲通学路に横断歩道の設置を。（池之原中公民館近くのT字路）



▲交差点の見通しが悪いため、学校側にカーブミラーの設置を。（池之原小学校前のT字路）

危険箇所等調査してもらいたい所がありましたらご連絡ください。

【連絡先】東串良町議会事務局 ☎0994-63-3132

議会の 人聞録

議員編

vol.3

このコーナーでは、議員個々が調査や研修等に参加した内容を報告するものです。

エコアイランド宮古島

調査日 11月7日

調査のきっかけと想い

今、私たちは便利で豊かな社会に生きています。しかし、この素晴らしい世界はいつまで続くのか考えてしまうことがあります。

皆さん、今ニュースなどでご存じのように確かに資源の枯渇、気候変動、環境破壊などの問題が私たちの身近に迫ってきています。これから先、私たちと私たちの子孫が安心して暮ら



肝属川河口のごみ(写真①)



報告者 瀬戸山 譲一

せるか不安に思うひとつに写真①の肝属川河口に山積するゴミがあります。これは心ない人が投げ捨てたものです。このゴミはやがて海に流れ、細かく砕かれてマイクロプラスチックになります。このマイクロプラスチックは海洋生物を殺し、ひいては私たち人間の体にも悪影響を及ぼします。



エコアイランド研修資料



宮古島の取り組む千年先未来図

「SDGs」とは、「持続できる開発目標」と言われ、今のままでは、私たちはこの地域に住めなくなる可能性があります。それではいけないので問題解決の手法を国連が提示したものです。それが下記のイラストの通り、17の項目があり、日本政府も各公共団体に取り組みを進めています。

運営していました。

SDGsで取り組む

宮古島市では、この事業を「SDGs」に基づいて

そこでこのゴミ問題に取り組む「千年先の未来へ」と称し、「持続可能な島づくり」を官民一体となって推し進めている沖縄県宮古島市に視察調査に行きました。



SDGs(持続可能な17項目の目標)



蓄電システム

宮古島市は、「6安全な水とトイレを世界中に」に関して特に力を入れていました。農業排水の亜硝酸態窒素が地下水を汚染しているからだそうです。このことに多くの自治体が頭を悩ませています。東串良町でもその対策は参考になると思います。

「7エネルギーをみんなにそしてクリーンに」についてもその先進性に驚かされました。

島近海の天然ガスの採掘も検討しているとのこと。いわゆるエネルギーの自立です。昨今日本の各地で停電が発生して大きな社会問題になっていますが、東串良町も例外ではありません。注目すべきです。

理想通貨

写真②は宮古島市で流通する理想通貨というものです。



理想通貨(写真②)

うな活動に意識を持つ人が集まるから、環境について皆さんの関心が増々、高まるとも耳にしました。地域内で物流を発生させ域内の経済活動を活発にさせる手法として社会実験している地域が見られ始めています。財源不足に苦しむ地方財源に寄与する案件だと思えます。

宮古島市の環境問題と理想通貨の組み合わせは注目です。グッドアイデア！

堆肥センター

宮古島市の堆肥センターの大きな特徴は動物性糞尿に市中で廃棄される樹木や草も混ぜたもので、バランスのとれた品質で評価を得ているそうです。そして何よりも黒字経営でした。立



宮古島堆肥センター

地条件の良さも確かにありますが、その詳細を再度確認したいと思いました。

沖縄県牧志公設市場

調査日 11月8日

町の大きな事業は誰が動かすのか？

沖縄県那覇市の中心地、国際通りに牧志公設市場というところがあります。

今、老朽化した建物を取り壊し、建て替えの工事をしています。実は年間220万人が訪れるこの国際通りはシンボルの存在である牧志公設市場なしには成り立たないのだそうです。その認識を持った周辺住民、商店街の経営者の声が30億



牧志公設市場内

円ほどの建て替え事業に火をつけたのだそうです。そこで市が協議会を立ち上げ、事業の自身を活発に議論しているそうです。

東串良町内の建築物も老朽化が進行しています。そのうち建て替えの時期がやってきますが、主体者はやはり住民であるべきです。

建て替えの財源は？

ちよつとびっくりしましたが、建て替えの財源の8割は実は国からの補助金です。地方はやはりまだまだ国に頼らざるを得ない現実があります。支援をお願いする立場でありながら、自主財源の確保を探っていくか悩まなりません。



地下ダム資料館

生かします！



2会場で21名が参加

町民と議会の意見交換会として「第1回みんなで語る会」を、池之原校区は11月24日に総合センターで、柏原校区は12月1日に農村環境改善センターで開催し、総勢21名の参加がありました。

今回はテーマを「防災・減災」としました。近年、巨大化した台風の猛威や豪雨等により日本各地で甚大な被害が発生していることや、本町においても6月25日からの記録的な大雨により串良川が氾濫危険水位を超えたことなどから意見交換のテーマとして選定しました。

ここでは、参加者からの意見を一部お伝えします。

避難場所・避難方法の意見①

- 保健センターに行ったら、「防災センターに行ってくれ」と言われた。移動手段のない年寄りはどうするのか。
- 「あなたの地区の避難場所はここですよ」というように、固定した方がいいのではないか。
- 洲崎にある避難所の階段などにはのりがはって危険である。こうした避難所などは常日頃から整備すべきである。
- 地震で電柱などが倒れて道路が通行できなくなったとき、どの道路を通れば避難できるのか教えてもらいたい。

避難場所・避難方法の意見②

- 総合センターは危険ではないか。
- 避難で、高齢者や障がい者などが取り残されないよう事前の対策・検討、きめ細やかな配慮をお願いする。
- 円山公園の避難所だが、雨風を防ぐ対策をお願いしたい。



池之原会場には6名が参加



柏原会場には15名が参加

- 柏原の堤防にひびが入っている。今後調査して国に対策を要望してほしい。



委員会でひび割れの状況を確認

防災減災対策に

防災グッズの意見

- 防災グッズは、最低限どういうものを持って行ったらよいか教えてほしい。



議員が持参した防災グッズを紹介

串良川の 水位上昇対策の意見

- 高隈ダムของ放流の連絡はどうなっているか。
- 雨量と放流の関係データを示すべきだ。
- 今後、串良川の工事は河川敷を下げるのか川底を下げるのか。

石油備蓄基地の 安全性の意見

- タンクが津波で流されたら油づけ、火だるまになる。対策を考えてほしい。
- 備蓄基地の液状化は大丈夫なのか。
- 災害が発生したとき、タンクは大丈夫か。国に対しもの申してほしい。

寄せられた意見は

委員会活動で取り上げ、調査等していきます。
調査の進捗状況や結果は、今後議会だよりやホームページ等に掲載していく予定です。

その他の 意見



- 備蓄基地に入る道路の両側や中央帯に草が生い茂っているので整備の必要がある。国家石油備蓄基地に入る道路がお粗末すぎる。
- 円山公園の整備を進めているが、そこまで案内する看板等がないので立てるべきである。
- 円山公園がきれいになった。ここ最近、子ども連れを見るようになった。芝も張られ、家族で来て遊べる場が整備されたのではないか。
- 議会の調査について感想文を出したと言われたが、調査してどういうことだったのか、その内容を教えてほしい。
- こうした意見交換会の場を持つことはいいことだ。座席など今回の対面式ではなくコの字型がいいのではないか。また、参加者側にも机があった方がメモをとりやすい。

令和2年 第1回臨時会

令和2年第1回臨時会を1月21日に開きました。

本臨時会には農業委員会の関係条例2件、水道事業の関係条例6件、施設廃止の関係条例1件、定住事業の関係条例1件、一般会計

補正予算1件の提案があり審議を行いました。

審議結果や議案に対する各議員の賛否状況（21ページ）は次のとおりです。

委員定数と報酬（赤字が改定後の数値です。）

	定数（人）	報 酬
農業委員会委員	7 → 8	(会長) 月額 44,000円 → 50,000円 (委員) 月額 37,000円 → 43,000円
農地利用最適化推進委員	5 → 8	月額 28,000円 → 40,000円

参考) 改正前の近隣町との定数等比較表

	東串良町	大崎町	肝付町	錦江町
現在の農業委員数（人）	7	13	15	15
農地利用最適化推進委員（人）	5	13	16	9
農家数（戸）	787	1,413	1,256	926
農地面積（ha）	1,390	4,080	2,500	1,590

	東串良町	大崎町	肝付町	錦江町
会長	44,000円	88,100円	55,000円	51,000円
農業委員	37,000円	43,700円	43,500円	43,500円
農地利用最適化推進委員	28,000円	5,050円 (日額)	30,000円	41,000円

農業委員の定数を増、報酬も引き上げました

農業委員会組織においては、今後「人・農地プラン」の実質化などこれまで以上の活動と成果が求められているため、定数等を改正し委員会活動の強化を図るため提案されました。審議の結果、左表のとおり委員定数の増と報酬の引き上げを決めました（いずれも賛成6、反対3で原案可決）。

委員の定数増に関して

反対討論

西園 貞美 副議長
3年前13人の定数であったが、改正後12名で3年間運用されてきた。今回16名と急に4名の増員だが、毎年、農業者数が減ってきているなか、増員は必要か。

牧原 完治 議員
他町と比べ本町は70パーセントほ場整備が進められ、他町は山間部を抱え広範囲で活動している。新事業等もないが増員は問題ではないか。

賛成討論

泊 重巳 議員
今後、本町の基幹産業である農業を維持していくためには、若者が安心して農業できる体制づくりが必要である。

瀬戸山 謙一 議員
耕作放棄地を整備した際、農業委員会の担当者が尽力してくれた。今後、様々な場面において農業委員会の果たす役割は大きくなると思う。

報酬の引き上げに関して

反対討論

西園 貞美 副議長
一般財源で300万円の増となっているが、実績でパーセント的に多額となっている。農業者数が減っている中で報酬を上げることが納得できない。

牧原 完治 議員
定数が増え、報酬も上げられることは町民の理解が得られるのか。

賛成討論

泊 重巳 議員
今後も尚一層頑張つていただき、東串良町の農業を確立していただきたい。

前田 隆 議員
面積は他町と比べても変わりはない。報酬もだいたいぶらぶらある。農業委員の方によると、一人頭120件近く抱えている。会えないときは2、3回足を運び、自分の仕事ができず大変、という声があった。

4月1日から上水道事業へ移行しますが、料金の値上げはありません

国は「水道ビジョン」を策定し、地方公共団体の経営基盤の強化や財政マネジメントの向上等さらに的確に取り組むために公営企業会計の適用を推進しています。

これに伴い、本町も現在の簡易水道事業を4月1日から地方公営企業法を適用する上水道事業へ移行するため、今回関係議案が提案されました。

審議の結果、全会一致で上水道事業への移行を決めました。なお、このことによる水道料金の値上げはありません。

？ 地方公営企業とは

地方自治体は、教育、福祉、消防などのように行政一般を行っています。水道、交通、病院、下水道などの事業も行っています。こうした事業は第三セクターなどを活用して行う場合もありますが、地方自治体自らが行う場合もあります。この地方自治体が行う経済活動のことを「公営企業」といいます。

児童館を廃止することを決めました

円山公園敷地内にある児童館は、耐用年数を経過し使用上の危険性も高いことから廃止する議案が提案されました。

審議の結果、全会一致で児童館を廃止することを決めました。なお、今後児童館の撤去や跡地の利用等が検討されていきます。

柏原定住用地の貸付料、月額で坪単価40円

柏原小学校の北側に整備された定住促進用地の用地名と貸付単価の議案が提案されました。

審議の結果、提案のとおり用地名を『マリンドレック』、また貸付単価を40円（月額3・3平方メートル単価）と全会一致で決めました。

ふるさと納税関係経費、5000万円を追加

ふるさと納税寄附金が増える見込みがあるとして、関係経費等5000万円を追加する一般会計補正予算が提案されました。

審議の結果、全会一致で提案のとおり決めました。

第1回臨時会の賛否状況

議案等の番号	件名	賛否の意思表示									議決結果		
		小川	児玉	瀬戸山	牧原	西園	泊田	前田	上園	宮地		田之畑	
議案第1号	東申良町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第2号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第3号	東申良町水道事業の設置等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号	東申良町水道事業給水条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	東申良町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	東申良町水道事業運営委員会条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	東申良町簡易水道事業を地方公営企業法を適用する東申良町上水道事業とすることに伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	東申良町簡易水道事業を地方公営企業法を適用する東申良町上水道事業とすることに伴う関係条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号	東申良町児童館設置管理条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	東申良町定住促進住宅用地の貸付け等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	令和元年度東申良町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

（○：賛成、×：反対、－：議長には表決権がありません。）



短歌と私

田之畑 稔

私は町の短歌会の会員である。きつかけは十年も前に友人にうまく誘われたことであつた。ある日、彼から「短歌会に入りませんか」と声をかけられた。「何？短歌？」と言うと、彼はすかさず毎月一回十人ほどの人たちが短歌を持ち寄り、歌会を開いている「楽しい会ですよ」とたたみかけて来た。私が短歌なんて五・七・五・七・七の単なる言葉遊びだろうと言うと、彼はそうです。「簡単な言葉遊びの会です。私達と一緒に遊びませんか」と言った。私はこのことがきつかけで気安く「東串良町短歌会」に入会する羽目になった。

入会して間もない頃、私が「道端の名もない草にもきれいな花が咲いている」と云う趣旨の短歌を出したところ、今は亡き熟練の先輩女史から「名もない草花はありません。草花にはすべてに名前があるのです。」と叱られた。この時私には返す言葉がなく、無言で聞き入るだけであつた。確かに名もなき草

花と云う表現はよくある表現である。しかし、熟練女史の言葉には、人にすべて名前があるように道端の草にもすべて名前があるのだから無下にせずよく観察して大事にしなさいと云う教えが込められていたのである。この熟練女史の教えは、町民のすべての人に名前があり、それぞれが個性を持ち懸命に頑張つて生きているのだから、それぞれの人声に真摯に耳を傾けて公正・公平な判断をしなさいと云う教えであつたのである。このことから、私の短歌づくりは自然を見つめ、世の中を見つめ、自己を見つめる暫しの研鑽の時間となつたのである。



草花にはすべてに名前がある

議会だよりへの投稿を紹介しす

よみがえる懐かしい記憶

私は11月11日発行の議会だよりのコラム「美談と誇りと」をととても興味深く読ませていただきました。

須田先生のお話は遠い昔、小学生の時先生から紙芝居を読んでもらっていました。

結婚してこちらに来た時、姪子達が須田先生の話や歌をうたってくれて、海岸には銅像もあると教えてくれました。これは実際にあった話だと聞いていましたが、その頃柏原海岸がどこにあるのかも知らず、どこか遠いよその話だろうと思っていました。

それが今、自分が住んでいるこの地であるなんてびっくりしました。

今回のコラムから私の遠い昔を呼び戻していただき、いろいろな思い出が次々と甦ってまいりました。

本当にありがとうございました。

※おたよりの一部を抜粋し、掲載しております。

Aさん（岩弘在住の女性） 2019.12.3付

祝 全国町村議会 議長会 表彰



11月13日、全国町村議会議長会創立70周年記念式典において、田之畑議長が2つの特別表彰を受賞されました。

◆町村議会議員として30年以上在職し、功労のあった者

◆県議長会会長として4年以上在職し、尽力した者

東串良町の町木はクロマツ ですが、町花は何でしょうか？

《ヒント》

4月にこの花の名前の祭りが開催されます。



ク

イ

ズ

【応募方法】

- 郵便はがきに、次の事項を書いて議会事務局までお送りください。
 - ・クイズの答え
 - ・住所、氏名、年齢、電話番号
 - ・議会だよりの感想や、町政に対するご意見、議会へのご要望など（ひとことでもいいです。）
 - 一家族につき、1枚の応募とさせていただきます。
 - 正解者の中から抽選により、3人の方に図書カードをお送りします。
 - しめきりは、令和2年3月10日です。（当日消印有効）
 - あて先 〒893-1693 東串良町川西1543 東串良町議会事務局
- ※なお、正解者につきましては、本人の特定がされない範囲内で掲載させていただきます。

議会だより 143号の答え

問題 第53回町民運動会は今年初めてチーム編成であったが何チームだったでしょうか。また、総合優勝は何チームだったでしょうか。

答え (チーム数):3チーム (総合優勝):柏原チーム

応募総数4通、正解者4人、このうち抽選により3人へ図書カードを進呈しました。(岩弘・15歳・男性)、(岩弘・11歳・女性)、(池之原・39歳・女性)

ふるって
ご応募ください

議会だよりに投稿しませんか

例えば

1. この町に住んで感じること (200字程度)
2. 議会を傍聴して (感想等)
3. 将来の夢 (200字程度)
4. 東串良町の未来図 (図画)
5. 自慢のワンショット写真
6. イラスト …… など

【応募方法】

東串良町議会事務局まで郵送またはメールで応募してください。(持参可)

なお、応募者は次の事項を必ず記入してください。

住所、氏名、年齢(学校名と学年)、電話番号、匿名希望者はペンネーム

【応募先】

〒893-1693 東串良町川西1543番地

東串良町議会事務局

メールアドレス: gikai@higashikushira.com

【しめきり】 令和2年4月10日必着

【注 意】 作品の返品はいたしません。

議会だより「東くしら」に
採用された方には、
図書カードをお送りします。

応募作品は、
第145号(5月発行)
で掲載する予定です。

輪^わ和^わ話^わのひろば

vol.26

このコーナーは、町内のあちらこちらの「ひろがり」や「つながり」を伝える目的で企画しました。名付けて『輪和話のひろば』です。

町民の皆さんに登場していただき、もっと議会だよりを身近に感じてほしいと思います。

また、ご一報いただければ取材に伺います。よろしくお願いします。



収穫祭の様子

えほしまえわた
鳥帽子前牟田環境保全協議会（みどりサークル）

みどりサークルは、6年前から田んぼや畑の地権者、また耕作者をあわせて350人ほどで活動しています。

みどりサークルの発足は、役場の担当者から、この地域に声をかけていただいたのがきっかけでした。主な活動としては、田畑の除草作業や地元の文化活動です。業者の方に農道の整備や補



みどりサークルの皆さん

修工事等に参加してもらっています。

去年の暮れには、収穫祭を催しました。地元の人々と楽しく交流できました。協議会を通じて、こうした交流が持てることに、楽しさを感じています。

今回、耕作放棄地の解消が図られました。今後の活動としては、そこにソバなどを植えて、年末の年越しソバ大会が開催できたらと考えています。

くわんわん

この協議会が、地域の活性化につながっていくことが伺えます。ますます、頑張ってくださいと思います。
(取材 宮地 利雄)

表紙の案内



表紙の写真は、1月12日に行われた東串良町消防出初式の放水訓練の様子です。各分団による規律訓練や消防団の車両紹介があり、子どもたちは目を輝かせ、夢中になっていました。

また、女性消防団によるドローンを操作する場面では、会場の皆さんは興味津々に目で追う姿も見られました。

編集後記

2020年を迎えました。昨年は元号も変わり、議会の中でも様々な「変化」を感じた年となりました。

『みんなで語る会』では、皆様の様々な想いや声を頂きました。引き続き課題の解決に全力で取り組み、町民の皆様が安心して暮らせる町づくり、町民一人ひとりが元気で明るく輝ける年となるよう努めて参りたいと思います。

その為には、先を見据え

た「監視機能・政策立案型議会」をより強固なものとし、私たちの町にある可能性や潜在力に着目し、地方の自主性・自律性の拡大を進めるため議員それぞれが研さんしていく必要があります。

町づくりの根幹となる基本計画を審議する事は「チェック機能の強化」の反面、議会の責任も重くなる事をしっかり自覚し、今後も皆様と共に歩んでいきたいと思ひます。

小川 香織